

# 平成31年（2019）4月 入域観光客数概況

4月の観光客数は、85万1,400人  
対前年（H30）同月比 +1万8,200人、+2.2%  
～4月の過去最高を更新～

## 入域状況

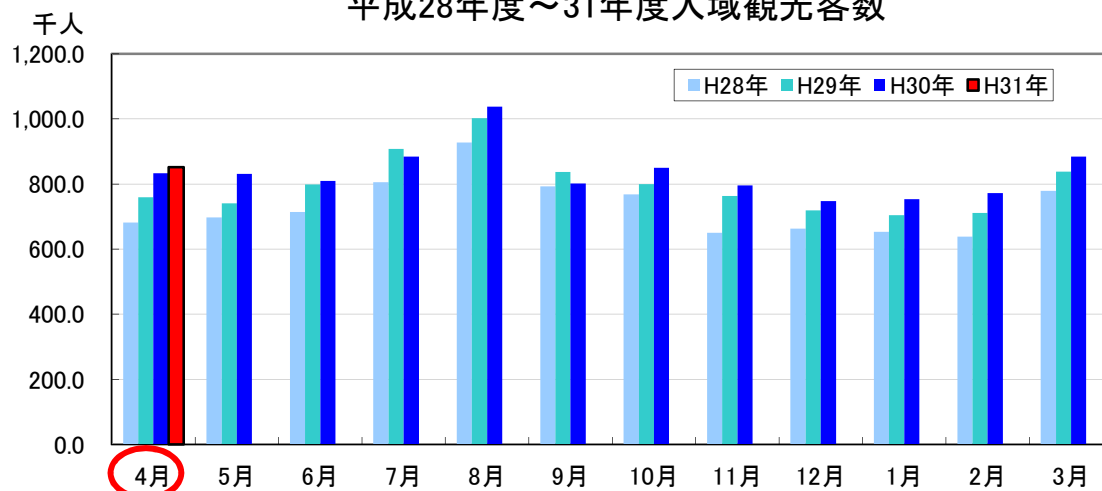
入域観光客数（平成30年度との比較） ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	H31年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	601,100 人	556,400 人	+ 44,700人	+ 8.0%	70.6%
外国客	250,300 人	276,800 人	△ 26,500人	△ 9.6%	29.4%
合計	851,400 人	833,200 人	+ 18,200人	+ 2.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成30年度との比較） ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	H31年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	601,100 人	556,400 人	+ 44,700人	+ 8.0%	73.3%
外国客	218,600 人	236,400 人	△ 17,800人	△ 7.5%	26.7%
合計	819,700 人	792,800 人	+ 26,900人	+ 3.4%	100.0%

## 平成28年度～31年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

4月は、ゴールデンウィークによる航空会社の臨時便の運航等があったことや、沖縄国際映画祭等の大型イベントの開催があったこと等から、前年を上回った。

5月は、引き続きゴールデンウィークによる航空会社の提供座席数の増加や予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

4月は、ゴールデンウィークが10連休となり旅行商品が高騰したことや、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

5月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H31年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	279,500 人	259,500 人	+ 20,000人	+ 7.7%	46.5%
関西方面	124,100 人	116,700 人	+ 7,400人	+ 6.3%	20.6%
福岡方面	74,900 人	71,000 人	+ 3,900人	+ 5.5%	12.5%
名古屋	54,400 人	49,400 人	+ 5,000人	+ 10.1%	9.1%
その他	68,200 人	59,800 人	+ 8,400人	+ 14.0%	11.3%
合計	601,100 人	556,400 人	+ 44,700人	+ 8.0%	100.0%

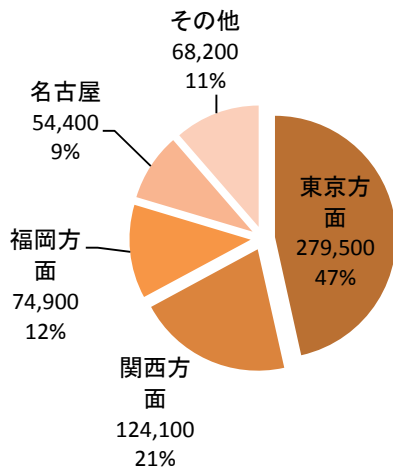
※国内海路客5,000人を含む(鹿児島2,200人、横浜2,800人)

## 外国客 国籍別入域状況

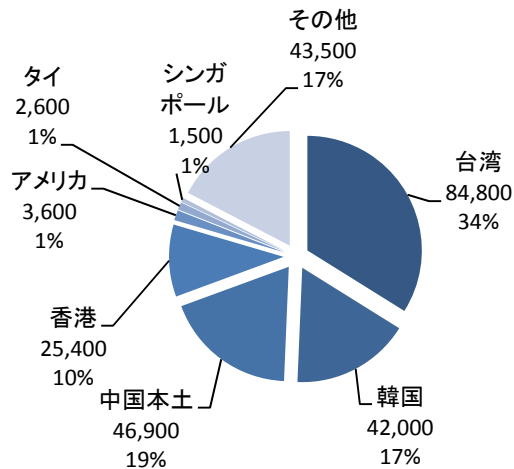
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H31年度	H31年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	84,800 人	84,800 人	89,800 人	△ 5,000人	△5.6%	33.9%
韓国	42,000 人	42,000 人	44,900 人	△ 2,900人	△6.5%	16.8%
中国本土	46,900 人	46,900 人	52,300 人	△ 5,400人	△10.3%	18.7%
香港	25,400 人	25,400 人	22,800 人	+ 2,600人	+11.4%	10.1%
アメリカ	3,600 人	3,600 人	4,300 人	△ 700人	△16.3%	1.4%
タイ	2,600 人	2,600 人	3,200 人	△ 600人	△18.8%	1.0%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	1,500 人	△ 0人	+0.0%	0.6%
その他	43,500 人	11,800 人	58,000 人	△ 14,500人	△25.0%	17.4%
合計	250,300 人	218,600 人	276,800 人	△ 26,500人	△9.6%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	55,600 人	55,600 人	△1.6%	37.5%	29,200 人	29,200 人	△12.3%	28.7%
韓国	42,000 人	42,000 人	△6.3%	28.3%	0 人	0 人	△100.0%	0.0%
中国本土	19,300 人	19,300 人	△5.4%	13.0%	27,600 人	27,600 人	△13.5%	27.1%
香港	19,000 人	19,000 人	+1.1%	12.8%	6,400 人	6,400 人	+60.0%	6.3%
アメリカ	2,500 人	2,500 人	+31.6%	1.7%	1,100 人	1,100 人	△54.2%	1.1%
タイ	2,500 人	2,500 人	△19.4%	1.7%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	+0.0%	0.9%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
その他	6,100 人	6,100 人	+19.6%	4.1%	37,400 人	5,700 人	△29.3%	36.7%
合計	148,400 人	148,400 人	△2.4%	100.0%	101,900 人	70,200 人	△18.3%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や搭乗率が良好だったこと等から、前年を上回った。

5月は、引き続きゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されることや、航空会社の提供座席数の増加や予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

### 大阪

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や搭乗率が良好だったこと等から、前年を上回った。

5月は、引き続きゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されることや、一般団体旅行の受注が良好であること等から、好調に推移する見込み。

### 福岡

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の搭乗率や旅行会社の旅行商品の販売が良好だったこと等から、前年を上回った。

5月は、引き続きゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されることや、旅行商品の予約状況が良好であること等から、好調に推移する見込み。

### 名古屋

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や搭乗率が良好だったことや、先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったこと等から前年を上回った。

5月は、引き続きゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されることや、旅行会社の宮古島旅行商品の販売が良好であること等から、好調に推移する見込み。

### 台湾

4月は、清明節休暇が昨年より1日少なくなったことや、前年同月と比べクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

5月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

### 韓国

4月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、韓中関係の改善による中国への渡航需要の回復やベトナム人気など渡航先の多様化等から、前年を下回った。

5月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、仁川-下地島間のチャーター便の運航が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

### 中国本土

4月は、ゴールデンウィークの影響による旅行商品の高騰があったことや、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

5月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、労働節休暇による旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

### 香港

4月は、イースター休暇があったことや、香港発のクルーズ船の寄港が増加したこと等から前年を上回った。

5月は、仏誕節休暇による旅行需要の高まりが期待されることや、香港発のクルーズ船の寄港が増加する予定があること等から、好調に推移する見込み。